

会 議 録（５月）

平成 27 年 5 月 14 日
教育委員会会議室

1. 出席委員 委員長 菊池 清隆 委員 藤岡 富生 委員 松本 学
委員 興梠 瞳 教育長 島寄 善真理
2. 書 記 教育次長 武内 秀元
3. 報 告
 - (1) 中学校統合準備委員会について
 - (2) 中学校跡地利用部会について
4. 協 議
 - (1) 学校におけるフッ化物洗口について
5. その他
 - (1) 第 3 2 回五ヶ瀬町体力づくりバレーボール大会の開催について
 - (2) フロアカーリング教室の開催について
 - (3) 澤村武山五ヶ瀬展について
 - (4) 文化財保存調査委員会について
 - (5) 第 1 1 回九州地区市町村教育委員研修大会について
 - (6) 第 8 回創作クラフト展の入場者の状況について

連絡事項

- (1) 教育委員会行事予定（５・６月）について

会 議 録 午後5時45分開会

委員長 あいさつ

議事録署名委員：松本学 委員

【3. 報告】

1 中学校統合準備委員会について

5月13日に第5回目となる全体会を五ヶ瀬町役場第1会議室で開催した。

- ① 総務部会会議録に基づき、武内教育次長が説明する。

制服

- ・女子生徒の制服については、本年2月から3月にかけて小学校4校に両中学校長が出向き、4・5年生保護者へ説明を行った。その中では、反対意見等はなく、賛同いただけたと認識している。
- ・全体会に諮り、ゴールドラインのセーラー服に決定した旨を報告した。
- ・夏服や体操服に関しては、学校で決めることになっているが、学校で担当を決め

を進めている。

校章デザイン

- ・校章デザインの茶の葉をモチーフにしたデザインは、町内全地域で茶の栽培が行われている訳ではないので、しだれ桜の葉など、他の葉にした方が説明がつくのではないかと意見があり、しだれ桜の葉という説明に変更した。
- ・生徒のデザインの一部を取り入れたデザインを元にプロにお願いし、素晴らしい校章案が出来あがり、全体会で決定した旨を報告した。

その他

- ・校門の校名は、五ヶ瀬中等教育学校の書道顧問である本田淳也先生にお願いする。
- ・開校式は、28年度始業式の日に行い、名称を開学式で考えている。
- ・総務部会で協議すべき事項は終了した。

② 通学部会会議録に基づき、渡邊グループ長が説明する。

- ・路線の検討及びスクールバスの購入について検討している。スクールバスは鞍岡で初めてのことであり、数回シミュレーションを行い検討する予定でいるが、4月になり家庭訪問が終わってから、バスが空いているときにシミュレーションを行う。
- ・5月19日に、中学校合同のスポーツテストをGパークで行う予定であり、保護者への連絡及び学校の理解を得た上で実施する。
- ・6月になり、現1年生及び2年生のG授業時に2回目のシミュレーションを実施する予定でいる。
- ・実施してみないと保護者の負担とかが不明であるため、数回実施し、その後に保護者等から意見が出されるのではないかと考えている。
- ・三ヶ所中学校で運行しているスクールバスとの公平性の面もすり合わせながら検討を進める。
- ・町のコミュニティバスとスクールバスに関して、意見調整の場を設ける予定でいるが、コミュニティバスに関しては企画課所管であり、日程調整を行っている。

③ P T A 部会会議録に基づき、武内教育次長が説明する。

役員及び専門部長、副部長の選考方法について

- ・新年度の役員については、前年度の2月までに選考委員会によって選出する。
- ・各専門部の部員については、4月の参観日に各学級で選出する。
- ・各専門部の部長及び副部長については、4月の参観日以降に専門部会を開き選出する。

平成28年度の役員選考について

- ・1月 それぞれの中学校で選考委員会を開き、各小学校1名（計4名）の役員候補を選出する。
- ・2月 選出された4名の役員候補及び各中学校の教頭2名で互選し、振興会長候補1名、副会長候補3名を選出する。

- ・ 4月 教育振興会総会で承認を受ける。

今後の検討事項

- ・ 各専門部の人数について
 - ・ 新役員の入れ替わり時期について
 - ・ 事業計画について を検討することとしている。
- ④ 教育課程等検討部会の状況について、松下指導主事が説明する。
- ・ 校長が総務部会に属しているため、最終的な決定が出来ないので、別の日に校長に入ってもらい、この夏には確定したいと考えている。
 - ・ 地元の祭り等への参加は、休日にする方向で考えている。
 - ・ 伝統芸能継承の時間を中学校でも設定しようと検討している。何時間くらい取れるかを授業の時間数から割り出して決定する。
 - ・ 部活動の種目については、アンケートを取るなどして決定したい。三ヶ所中学校の野球部は、3年生が引退したら足りなくなり、新1年生が入ればどうにか足りるが、また3年生が引退すれば足りなくなるという状況を繰り返すのではないかということで、この対応について学校の方でも検討しなければならない。
 - ・ 部活動のユニフォームについて、校名が変わることにより、新しく作らなければならないが、これについては補助する旨を統合に関する説明会で言ってきているので、町にお願いしなければならない。

(質疑)

なし

2 中学校跡地利用部会について

- ① 名簿に基づき、教育次長が説明する。
- ・ 委員構成は、鞍岡地区選出議員、鞍岡地区公民館長、鞍岡地区教育委員、NPO法人代表、鞍岡小学校長、鞍岡中学校長、鞍岡小学校教育振興会長、鞍岡中学校教育振興会長、役場福祉課長、企画課長、教育長、教育次長で構成する。
 - ・ 第1回部会を5月25日(月)午後7時から鞍岡地区公民館で開催する。

(質疑)

なし

【4 協議】

1 学校におけるフッ化物洗口について

- ① 高千穂保健所長からいただいた資料に基づき、教育次長が説明する。
- ・ 5月11日の午後に瀧口高千穂保険所長及び池袋健康づくり課長が来庁され、町長、教育長、福祉課長、中村保健師、教育次長で説明を受けた。
 - ・ フッ化物応用の歴史は、古く海外では1945年から始まった。

- ・海外では多くの国が水道水にフッ化物を入れ、フロリデーションを実施している。
- ・日本では、アメリカ軍の施設内でフロリデーションを実施している。
- ・県内では、1999年に新富町の保育園がモデル事業で行ったのが始まりである。
- ・2001年に宮崎県下におけるフッ化物洗口事業を開始した。
- ・2003年に厚生省が、フッ化物洗口ガイドラインを発行した。
- ・2004年に北郷村の2小学校でフッ化物洗口を開始し、川南町、木城町、西米良村、高千穂町、宮崎市、串間市、日之影町、日南市で順次開始した。
- ・フッ化物洗口は、一人当たり年間500円程度で行える。
- ・過去に佐賀県は12歳児の虫歯本数が全国ワースト1位であったが、フッ化物洗口を全市町村の小・中学校で取り組み、現在では上位に位置している。
- ・これまで学校現場で進まなかった原因は、劇薬であり管理に気をつかうことや希釈の際の養護教諭への負担等があった。
- ・取り組んでいる学校によっては、養護教諭の負担を軽減するため、全職員で希釈するようにしているところもある。
- ・これまで事故例は上がっておらず、危険性は低い。一気に30人分程度を飲み込んだ時に吐き気とかが出る可能性はあるが、実際には起こり得ない。
- ・既に五ヶ瀬町では、保育所が実施しており、保育所で経験した子たちが小学校2年生になっている。これから小学校で取り組んでもさほど問題はないのではと考える。
- ・以前、定例教育委員会において協議されているが、この時は様子を見るということになっていたようである。
- ・昨日、校長会があり教育長からこの資料を使って説明していただいた。
- ・福祉課の中村保健師も是非取り組みたいと希望している。最初は、一つの学校でモデル的に取り組んでもいいと考えている。
- ・校長が6名のうち、4名は他の学校で経験されており、理解は得やすかった。
- ・昨年1月に、宮崎の教育を明るくする県民連合議長及び西臼杵地区協議会議長から、町長及び教育長へ実施に当たっての申し入れがあり、意見交換を行っているので、今回、検討することについて、西臼杵地区協議会議長へ意見交換の場を設けたい旨を伝えた。

(質疑)

教育長補足説明

- ・週1回法で行い、希望者のみで実施する考えでいる。
- ・本日、教頭会があり話をしたが、教頭会では了承を得た。
- ・6月に学校保健会の総会があるので、そこに高千穂保険所から所長に来ていただき、質問等に答えていただこうと考えている。
- ・保護者への説明も必要になる。

- ・出来れば今年度中に保護者への了解と予算措置の見通しを付け、早くて来年度から実施したいと考えている。

Q こんなに長い歴史があるのに、未だかつて不安があるのは何なのか、保護者の中にも疑問を抱いている方もいるかも知れないので、実施に当たっては、上から決めるのではなく、良いこともあるがリスクもあるということを説明した方が良いのではないか。

A リスクはないということである。風評被害というか、フッ化物が劇薬となっているため、危険であるというイメージが先行している。インターネット等を見ると、医師会でもフッ化物洗口については否定的な歯科医師もいるようだがと高千穂保険所長に訪ねたら、否定的なのはほんの数名ですと言われ、歯科医師会が推奨するものだと言われた。

Q 実施した場合、データを取ると効果的ではないか。

A 他市町村では、結果が出ている。

保育所の保護者にアンケートを取ったら、8割の方が小学校に入っても継続を望んでいるようだ。

Q 保育所は取り組んで何年になるのか。

A 保育所は年中からだとする、小学校2年生が経験しているので、もう4年程になるのではないか。

(決定事項)

- ・教育委員会としては実施する方向で意見を統一する。あくまでも希望者のみとし、アンケート等のデータを使い、保護者等へ理解を得ながら進める。

【5 その他】

1 第32回五ヶ瀬町体力づくりバレーボール大会の開催について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・6月15日、16日に予選大会を開催する。
- ・6月18日、19日に決勝トーナメントを開催する。

(質疑)

なし

2 フロアカーリング教室の開催について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・5月26日から10月27日までの第4火曜日、午後7時からドームで合計6回開催する。

(質疑)

なし

3 澤村武山五ヶ瀬町展について

①資料に基づき、教育次長が説明する。

・5月28日から6月21日まで自然の恵み資料館にて開催する。

(質疑)

なし

連絡事項

1 委員会の5・6月行事予定

※ 一覧表により次長が説明する。

次回の定例教育委員会日程

6月22日(月)午後5時30分 教委委員会において開催する。

閉会時刻 午後6時21分

教育委員長

会議録署名委員

会議録調整者